

庶民たちの時代であった。今までの文芸は主として貴族たちや地位のある文人たちを主人公としていたのに対し、江戸時代と明清時代の文芸は主として庶民たちを主人公とした。それは実に興味深い事実であった。さらに、江戸時代の文芸では小説であろう、浮世絵であろう、とにかくそれらの文芸作品を通して、遊廓はいかに江戸の文芸に影響を与えたことがわかる。そして、明清時代の文学作品を見たら、やはり文人と遊女との間の恋愛ストーリーがたくさん見えた。したがって、遊里生活は江戸時代の文芸の成立にも明清時代の文芸の成立にも関係したことが判明した。そのゆえ、江戸時代と明清時代における庶民生活と文芸活動の違いをはっきりさせるためには、まず江戸時代と明清時代の遊里生活の風貌を先に知らなければいけないと思った。本稿は江戸時代の吉原と明清時代の秦淮の遊廓を調査対象とし、その二つの代表的な遊廓を通して、当時の遊廓の実像を覗いてみたいと思った。

二、吉原と秦淮の遊廓の成立と発展

三、吉原と秦淮の遊廓の遊び

四、吉原の遊女と秦淮の妓女

五、吉原と秦淮の遊廓の成立の時代背景

六、終わり

ちん げいしゅう／台湾大學 日本語学科大学院2年

## 江戸時代と明清時代における遊廓文化 について

陳 羿秀

一、はじめに

中国の明清時代は庶民たちの活躍した時代であった。そして日本の江戸時代も中国の明清時代と同じように